



是非とも外科の見学にお越し下さい

大学での外科の実習はいかがでしたか？ 胆石症や鼠径ヘルニア、急性虫垂炎など、外科医が日常臨床で頻繁に遭遇する、“common disease”の診療に触れることができましたか？

当院の外科は、

- ・合併症を有する消化器癌の患者さまにも諦めない外科治療を提供する
- ・腹部良性疾患に対してより低侵襲な外科治療を提供する
- ・腹部救急疾患に対して迅速かつ適切に対応する

の3つの柱に基づいて日々の診療を行っています。消化器癌に対する手術はもちろんのこと、先述した“common disease”や緊急手術も多く手掛けており、年間600件前後の手術件数を誇っています。一歩進んだ低侵襲手術として「単孔式手術」や「細径鉗子」を用いた腹腔鏡手術も積極的に行っており、早期回復を実現しています。6名の外科医が幅広い守備範囲で、地域医療を担う急性期病院の外科としての立ち位置を保っています。

当院に見学にお越しただいただければ、市中病院における外科医の活躍の一端を肌で感じて頂けるものと思います。特に、低侵襲な手術を受けられた患者さまがスピーディーに回復して退院される過程を見て頂くことは、外科医を目指す方はもちろんのこと、進路を決めかねている学生さんにもきっと有用な経験になるものと確信しております。

出身大学などには一切関係なく随時幅広く見学を受け入れておりますので、人事課までお気軽にメールでご連絡下さい。手術ロボットはまだ導入しておりませんが、当院には心の通った外科医が揃っております。そんな外科医一同、皆さんのお越しをお待ちしております。

外科部長 小泉範明